



2006年3月期 第3四半期連結決算発表総合表 補足資料(1) - 事業セグメント別売上総利益・経常利益実績 -

2006年1月30日

双日株式会社  
(旧双日ホールディングス株式会社)

(単位: 億円)

	売上総利益				経常利益			
	05/12期	04/12期	(増減)	主な増減理由	05/12期	04/12期	(増減)	主な増減理由
	実績	実績			実績	実績		
機械・宇宙航空	335	309	26	低採算の国内自動車販売会社からの撤退などの減少要因( 9)があるが、中南米及びロシアの自動車事業会社が業績好調(+23)、一般機械関連の商いも好調(+10)、船舶は運航収益好調を維持、航空機関連は安定収益を確保しており、全体で増益	98	59	39	航空機関連でノースウエスト航空の影響があるが、営業利益の増益(+33)に加え金利収支改善、共有船売却等による船舶関連での持分利益増加、受取配当金増加などにより増益
エネルギー・金属資源	308	245	63	石油・ガス上流権益事業における新規連結および生産量増加等による増益(+20)、合金鉄関連取引での増益等(+35)、石炭鉱区保有子会社の区分変更(持分 連子)による増加(+20)等があり、非鉄関連での取引減少等による減益( 12)あるも、全体は増益	198	121	77	投融资拡大による金利負担増加等があるものの、石油・ガス関連事業における生産量増加等による増益(+10)、合金鉄関連取引での増益(+34)、石炭価格上昇による鉱区保有子会社の好調(+7)、メタルワンやLNG日本の業績好調等により大幅に増益
化学品・合成樹脂	340	334	6	肥料でのかんばつの影響等による減益( 7)があるも、化学品での石油化学基礎原料市況高騰に伴う商い増加等(+13)により、全体としては増益	76	48	28	化学品の好調等による営業利益増益(+13)に加え、持分法投資損益の改善(+16)などにより増益
建設・木材	185	182	3	建設はマンション事業の好調(+15)などで大幅な増益となり、木材が昨年第3四半期から続く供給過多に伴う流通在庫の増加による市況低迷の影響( 14)などで減益となったものの、全体では増益	87	21	66	マンション事業の好調などで増益となった建設が、市況低迷により減益となった木材をカバーし、営業利益が増益(+12)となったことに加え、商業施設(柏SC)の売却益(+21)、資産健全化処理に伴う金利収支の改善などにより大幅増益
生活産業 (除く なか卯売却影響)	300 (300)	385 (304)	85 ( 4)	・繊維はシンガポール社の新規連結の影響(+14)により増益 ・食料は問屋向けマグロの販売不振等( 3)により減益 ・物資はなか卯売却の影響等( 84)により減益	43 (43)	66 (64)	23 ( 21)	・繊維は衣料品の販売低迷等により減益( 10) ・食料はマグロおよび飼料原料等の販売不振などにより減益( 2) ・物資はチップ事業での原木調達コスト増加のほか、なか卯売却の影響などにより減益( 10)
海外現地法人	201	194	7	・米州は機械および物資等が堅調なるも低採算事業からの撤退の影響により減益( 5) ・欧州は前年同期比横ばい ・中国は北京の拠点体制見直しにより双日中国の営業力を強化等(+5) ・アジアは化学品・合成樹脂等が好調(+6)で増益	99	78	21	営業利益の増益(+19)に加え、受取配当金の増加などにより、全体としては増益
5営業部門+海外現地法人 (除く なか卯売却影響)	1,669 (1,669)	1,649 (1,568)	20 (101)		601 (601)	393 (391)	208 (210)	
その他	139	141	2	日商エレクトロニクスの増益(+2) 資産健全化処理に伴う賃貸収入の減少( 10)	38	19	19	受取配当金の増加(+19)、投資育成事業のキャピタルゲイン(+18)、資産健全化処理に伴う賃貸収入の減少( 10)など
合計 (除く なか卯売却影響)	1,808 (1,808)	1,790 (1,709)	18 (99)		639 (639)	412 (410)	227 (229)	

2006年3月期 第3四半期連結決算発表総合表 補足資料(2) - 通期見通し -

2006年1月30日  
 双日株式会社  
 (旧双日ホールディングス株式会社)

(単位: 億円)

P/L

	05/12期	04/12期	増減	06/3期見通し (05/10/27公表)	進捗率		06/3期修正見通し (06/1/30公表)	進捗率
売上高	36,867	34,086	+ 2,781	49,000	75.2%	経常利益の足元の状況: 第3四半期実績は639億円と好調に推移、通期見通しを770億円へ修正  機械・宇宙航空 ・航空機関連で米国ノースウエスト航空の影響はあるが、自動車・船舶関連を中心に各事業とも好調に推移  エネルギー・金属資源 ・石油・ガス関連で米国におけるハリケーンの影響はあるが、金属資源関連取引や持分法適用会社のメタルワン、LNGジャパン、バナジウム生産会社は好調に推移  化学品・合成樹脂 ・化学品は石油化学基礎原料市況高騰に伴う高い増加等により好調 ・合成樹脂は樹脂原料好調も、包装製品の価格転嫁が進まず不調 ・肥料は"かんばつ"の影響、閑散期入りに伴う需要減少により不調 ・メタノールは市況が想定に比べ高値で推移  建設・木材 ・建設はマンション事業、商業施設開発事業が好調に推移し、当期末までの案件にもほぼ目処がついている ・木材は第3四半期から流通在庫の減少により荷動きが活発化するも、上期の落ち込みをカバーするのは難しい  生活産業 ・繊維は寒波到来により冬物衣料品の販売増があったものの、春夏秋物衣料品の販売などこれまでの落ち込みをカバーするのは難しい状況 ・食料はマグロおよび飼料原料等の販売が減少するも受取配当金の寄与等により順調に推移 ・物資はチップ事業が原木調達コスト増加などにより不調  海外現地法人 ・全体としては概ね順調に進捗	49,000	75.2%
売上総利益	1,808	1,790	+ 18	2,510	72.0%		2,450	73.8%
(売上総利益率)	(4.90%)	(5.25%)		(5.12%)			(5.00%)	
機械・宇宙航空	335	309	+ 26	435	77.0%		445	75.3%
エネルギー・金属資源	308	245	+ 63	415	74.2%		410	75.1%
化学品・合成樹脂	340	334	+ 6	425	80.0%		445	76.4%
建設・木材	185	182	+ 3	255	72.5%		240	77.1%
生活産業	300	385	85	465	64.5%		415	72.3%
海外現地法人	201	194	+ 7	290	69.3%		280	71.8%
その他	139	141	2	225	61.8%		215	64.7%
販管費	1,214	1,290	+ 76	1,730	70.2%		1,660	73.1%
営業利益	594	500	+ 94	780	76.2%		790	75.2%
(営業利益率)	(1.61%)	(1.47%)		(1.59%)			(1.61%)	
営業外損益	45	88	+ 133	40	-		20	-
経常利益	639	412	+ 227	740	86.4%		770	83.0%
(経常利益率)	(1.73%)	(1.21%)		(1.51%)		(1.57%)		
機械・宇宙航空	98	59	+ 39	100	98.0%	110	89.1%	
エネルギー・金属資源	198	121	+ 77	205	96.6%	230	86.1%	
化学品・合成樹脂	76	48	+ 28	65	116.9%	80	95.0%	
建設・木材	87	21	+ 66	90	96.7%	90	96.7%	
生活産業	43	66	23	90	47.8%	65	66.2%	
海外現地法人	99	78	+ 21	145	68.3%	150	66.0%	
その他	38	19	+ 19	45	84.4%	45	84.4%	
特別損益	55	2,555	+ 2,500	100	55.0%	100	55.0%	
税引前当期純利益	584	2,143	+ 2,727	640	91.3%	670	87.2%	
当期純利益	368	2,389	+ 2,757	380	96.8%	415	88.7%	

(注) 経常利益の事業セグメント別内訳は社内管理ベースの参考数値です

B/S

	05/12末	05/3末	増減	06/3末修正見通し (06/1/30公表)
現預金	4,496	4,261	+ 235	4,000
営業資産	10,106	9,489	+ 617	10,200
投融資	6,051	5,826	+ 225	6,050
固定資産	4,632	4,909	277	4,700
資産合計	25,285	24,485	+ 800	24,950
営業負債	7,627	7,399	+ 228	7,600
有利子負債	13,318	14,284	966	13,400
負債合計	20,945	21,683	738	21,000
株主資本	4,340	2,802	+ 1,538	3,950
ネット有利子負債	8,822	10,023	1,201	9,400
ネットDER(倍)	2.0	3.6	-1.5	2.4